



退職者・異動者送別会



吉田光延 画

発行
 社会福祉法人いわき福音協会
 はまなす 荘
 いわき市平中平窪字二堂田2
 〒970-8002 ☎(0246) 8711
 編集責任
 はまなす荘新聞編集委員会

はまなす荘敷地内の桜の花が満開の中、平成三十年度を迎えることができました、とてもうれしく思います。

さて私は、十二年ぶりに、はまきく荘から異動してきました。十二年の間には、障害者制度改革が進み、措置から契約へ、障害者自立支援法から障害者総合支援法に、他にも障害者虐待防止法、障害者差別解消法の施行等、目まぐるしい福祉の動向がありました。そして、はまなす荘も昭和四十八年に開所した建物が新しくなり、平成二十三年の東日本大震災と原発事故により、避難こそ免れましたが、避難弱者の今後について考えさせられました。何より利用者の面々が変わったことに驚いています。定員百名だったのが五十名に変更されたことも大きく影響しているかもしれません。

こんな私ですが、施設長と



所長：志賀道子

して日々利用者と職員が、明るく元気に過ごすことができよう舵取りをしていきたいと思えます。

平成三十年度は、障害福祉サービス等報酬改定があります。障害福祉サービス等を提供する事業所数が大幅に増加している一方で、サービスの質が問われたり、効率的かつ効果的にサービスの提供を行うことが求められたり、重度障害者や高齢の障害者等の地域移行・地域生活を支援するためのサービスの評価をされるということ

です。私たちの使命は、障害のある利用者の人間としての生命を尊重し、施設役割(施設単独で担うのではなく、他の福祉機関との役割分担を考える)を明確にして、地域とうまく関わっていくことです。今、求められることについて共通認識を持ちましょう。

私たちが

南限の花

私もまだ若い方ではありませんが、時代の流行についていけないと思う時があります。その一つがインスタです。ちなみに周りはみんなやっています。(笑)

二〇一七年は「インスタ映え」という言葉が爆発的に流行し、フォトジェニックなグルメやスポットがインスタなどを賑わしました。そして！なんと！今年は新たなブームを起しているのが「ムービー映え」だそうです。驚きの変化が楽しめるスイーツを動画で撮影するそうなのですが、私にはその良さが全く理解できず、流行に乗る事はないでしょう。(笑)

一番大変なのは、ムービー映えをするスイーツや料理を考えなくてはならないお店側ですね。

福音協会も流行に乗ってインスタを利用してみてはどうでしょうか。

平成三十年度事業計画

利用者主体に、意思表出・意思形成を意識した支援をします。

三十年度の事業内容は、利用者一人ひとりの人権を擁護し、専門性を生かした生活支援をしつつ、はまなす荘のソフト面の強みを発揮した事業を実施したいと思えます。

(1) 短期入所、日中一時支援
月のべ人数にすると五十人からの利用があります。施設機能を十分に発揮して支援していきます。

(2) 意思決定支援
どんなに重い障害がある人も意思がある。ここが原点。

(3) 地域との交流
さき織り展示即売会や福祉まつりを通じて、障害のある人の理解が得られるように努めます。

平成三十年度行事予定



(4) 機能低下の予防
利用者の年齢や障害の特性を考慮した支援を強化し、機能低下の予防に努めます。

(5) 施設整備
利用者の生活の場として安心・安全と快適さを目指した環境整備を計画します。

今年度も花見や暑気払い、クリスマス・忘年会など、季節ごとに様々な行事を予定しております。特に、毎年恒例のみはま福祉祭りは、今年度ははまなす荘での開催となります。大いに盛り上げていきたいと思えます。

また、保護者の方との関係を密にすると共に施設内の状況を報告する場を設ける為に、面会日や福祉レクリエーション、一泊研修会も予定しております。

さらに、ボランティアの方の協力を得て、ライフサポートも実施していきたいと思っております。できる限り多くの

保護者との一泊研修

三月三日、四日に保護者との一泊研修会をいわき新舞子ハイツにて行いました。一時から、はまぎく荘と合同で成年後見人制度についての研修を行いました。講師にいわき市権利擁護・成年後見センター白土典子さんを招いての話は、制度の仕組みや利用の方について分かりやすい内容だったと思えます。その後各施設に分かれての研修会とな

利用者さんに参加して頂けるように、毎回、参加される利用者さんにあった計画を立てていきたいと思えます。

最後に、地域での行事にも積極的に参加していきたいと考えています。障がいのある方を理解していただき、時に協力していただけるような関係性を築いていきたいと思っております。

り二十九年度の事業報告・医務報告・支援状況報告がありました。休憩をはさんで二者面談となりました。二者面談では次年度の個別支援計画の作成のための目標の聞き取り

等普段時間を取ってできない話を保護者の方々と深く掘り下げてできたと思えます。なお、三十年度は、二月中に予定して行きたいと考えています。よろしくお願ひします。



一年を振り返って

男子棟

平成29年度に於いては、各季節ごとの行事や週末のボランティアの方による外出支援、そしてグループ旅行など楽しみを持って生活を送る事ができました。健康面では、猛暑の夏場を乗り切り、インフルエンザなどが心配された冬の時期も大きな流行はなく、一年間健康に留意して生活できていました。

また健康に過ごす為にリハビリや歩行運動を一年を通し行ってきました。これからも健康を維持する為に、継続して歩行運動やリハビリに力を入れていきたいと思っております。

今年度も健康に留意し一人ひとり楽しみを持って生活できるように支援していきます。



給食

調理業務を外部委託にして、一年が過ぎました。利用者さんを一番に考え、安心・安全な食事をモットーに、委託・受託という垣根を越えた、給食サービスの提供に努めました。

現在、栄養の分野において「栄養障害の二重負荷」という言葉が話題となっております。ある

集団内で、低栄養と過栄養が同時に起きている状態を言います。肥満等の過栄養は広く知られておりますが、低栄養も見過ごすことが出来ない課題としてあげられております。しかし、はまなす荘の利用者さんの中には、低栄養の方はいない事が検診結果でわかっております。

これからも又、支援員、看護師と常に連携をはかりながら利用者さんの栄養管理に尽力してまいります。

医務

私のはまなす荘に入職して15回目の春を迎えました。去年また一人大切な利用者さんをお見送りした時に、過去にお見送りした数名の利用者さんの事を思い出しました。

今までに癌から生還できた人もいれば、勝つことのできなかつた白血病や悪性リンパ腫などの疾

病もありました。

日進月歩医療が進んでいるとはいえ、その病に治療が追いつけない現状もあります。

そんな感傷に一時浸ってしまいましたが、これからも利用者さん一人ひとりに気配りしながら、地域の医療機関とも密に連携を継続し、健康管理に努めるべく、また利用者さんと共に元気に一年のスタートをきりたいと思います。(*^_^*)

女子棟

昨年は、長期入院中の方が退院し、女子利用者全員での生活が戻ってきました。花見で始まり、夏のバイキング、みはま福祉祭、グループ旅行、クリスマス・忘年会と全員で行えることの喜びを感じました。地域の皆様やボランティアの方々、保護者様の理解とご協力に支えられて行事ができています事深く

感謝しております。

支援員は、利用者様の健康と安全を確保することを第一に支援していますが、昨年度は、インフルエンザなどの感染症が流行することもなく、胸を撫で下ろしております。

今年度も、利用者様個人の気持ちや考えをくみ取り、寄り添い、共に生活していきたいと思っております。女子棟支援員一丸となって利用者様の幸福のために頑張ります。

功 労 賞

3月29日に平成29年度の功労賞授与式を食堂にて行いました。各賞の受賞者は以下の通りです。

- ★ ひまわり班 佐藤 勤 さん
- ★ さくら班 猪狩千香恵 さん
- ★ せんたく班 佐藤 文子 さん
- ★ さきおり班 秋元 貞子 さん
- ★ 男子棟 金成 光則 さん
- ★ 女子棟 小酒 保子 さん
- ★ 所長特別賞 佐藤 崇弘 さん



以上の七名が受賞しました。

今年度も皆さん良く頑張りました。来年も頑張ってください。

節 分



二月二日の日に食堂にて「節分」の行事が行われました。

今年は、インフルエンザの集団感染などは見られず、利

用者さんにとって楽しい節分となりました。最初に、職員から節分の意味などの説明を簡単に行いました。節分とは、今は、一般的に立春の前日となっていて、季節の変わり目には邪気が生じるという考えから、鬼払いなどの儀式が行われるのが一般的とされています。その後、今年の年男と

年女の六名の利用者さんを代表に無病息災を願い、豆まきを行いました。最後に、甘酒と甘納豆を楽しんで、節分という季節感を感じることができました。



ひな祭り



三月二日、美しい雛壇が飾られた食堂にて「ひな祭り」の行事が行われました。今年度のひな祭りでは、昼食を外

れを扱い、健康長寿や厄除けを願う風習があったことを利用者さんにお話ししました。お話だけでは、飽きてしまうので、職員による紙芝居の読み聞かせや甘酒などを楽しみながら、利用者さんたちは、のんびりと「ひな祭り」という季節行事を感じる事ができました。

豪華な昼食を楽しみました。そして、午後の活動の時間に、ひな祭りの由来として、日本には平安時代を起源とする「五節句」という行事があり、季節の節目に身の穢



さきおり展示・即売会

平成二十九年度のさきおり展示・即売会が二月九日と十日に行われました。

今年で三回目となるさきおり展示・即売会でしたが、二日間で計六八名の方にお越し



頂き、大盛況に終える事ができ、とても充実した会になりました。さきおりを行った利用者さんやご協力頂いた保護者の方はもちろんの事、着物や浴衣等の生地やお手製の作品を寄贈して頂いた方々、また、お越し頂いたお客様、全ての方にこの場を借りて感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

さきおり展示・即売会は来年度も実施予定です。また、さきおり班では様々な催しを考えています。その際は是非皆さまにお越し頂ければ嬉しく思います。また、作品作りに必要となる着物や浴衣の寄付と一緒に作品作りを行って頂けるボランティアの方も随時募集しております。使用しない着物や浴衣をお持ちの方や少しでもさきおりに興味のある方は、はまなす荘までご連絡頂ければと思います。

ボランティア活動懇談会

三月二十四日ばかばか陽気の中、平成二十九年度ボランティア活動懇談会が行われました。十六名のボランティアさんの参加を頂き、今年一年を振り返って沢山の貴重なご意見を伺う事が出来ました。

「はまなす荘に来て利用者さんの笑顔を見て元気をもらって帰るんです。」と笑顔で言ってお下さる方が多く、本当に沢山の皆さんに支えられているんだと再認識する事ができました。長年活動して下さった「エプロンの会」の皆さんが、今年度限りで終了となり

秋元さんの表彰について
第一回福島県障がい者芸術作品展『きになるひょうげん二〇一七』において、秋元貞子さんの出展作品「壁かけ(さきおりのく)」が入選されました。おめでとうございます。

送別会

退職者・異動者
三月三十日に自治会主催の退職者・異動者送別会を食堂で行いました。

今年度は庄司博文所長・橋本弘明課長の二名が退職となりました。また、高木郁夫次長が共同生活援助事業所シブへ、大谷英之支援員がつばさ(移行)へ異動となりました。退職者・異動者の方々、今までありがとうございます。

新しいところでも頑張ってください。また、はまなす荘に遊びにいらして下さい。お会いできる日を楽しみにしています。

イベント

一人芝居



一月末にマイマイムの古川氏による一人芝居「蜘蛛の糸」が上演されました。声に強弱をつけた迫力ある芝居に、みんな身を乗り出して興味津々でした。上演前に行った「魔法にかかった魔法使い」という指を上手に使った指人形も可愛いという声が聴かれ、楽しい時間を過ごせました。



New Face Introduction

新入職員紹介

- ①名前 ②職種
- ③趣味・特技 ④抱負



①志賀道子
(しが みちこ)
②所長
③駅弁の旅

④十二年振りに、はまぎく荘から異動になりました。心機一転、私の人生にまた一つ宝物ができますように精進します。「日々是好日!!」利用者の笑顔と職員のパワーをもらって充実した毎日が送れるよう努力します。よろしくお願ひ致します。



①朝倉早紀
(あさくら ともこ)
②支援員
③カフェ巡り

④この度、光の家から異動してきました。「朝倉早紀」です。みなさんと楽しい日々を過ごせたらと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



①古川真侑
(ふるかわ まゆ)
②支援員
③写真ゲーム

④今年度からはまなす荘で働く事になりました。まだわからない事だらけですが、利用者さんが安心して自分らしい生活を送れるよう精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。



①鈴木悠太
(すずき ゆうた)
②契約支援員
③ゲーム実況
水泳

④今年度からはまなす荘で働くことになりました。昨年度の三月まで学生パートとして土日、祝日に勤務していましたが、わからない事や不安な事等があります。一日も早く仕事を覚え、利用者さんの手助けになるような支援をしたいです。

異動・退職職員

高木郁夫次長が共同生活援助事業所シーズへ、大谷英之支援員がつばさ(移行)へ異動されました。

庄司博文所長と橋本弘明課長が三月三十一日付けで退職されました。支援員補助の折笠順子さんが二月二十八日付で退職されました。今までありがとうございました。

ありがとうございました。



寄附

イトーヨーカドー様
奥津芳江様 (順不同)



編集後記

新年度が始まりました。皆さんも新たな気持ちで過ごされる事でしょう。素敵な一年になりますように。